

広告

編集後記

浜益の毘砂別に、地元の粘土も使
いながら作陶している方がいると聞き
さっそく「どぶろく」を持って出かけ
ました。「どぶろく」とは、もちろん
今回の表紙で紹介している「石狩に
浜つちやい盆」のこと。浜益にそんな
すてきな器があるのならぜひ、その器
に入れて撮影したいと思いい、その思い
が結実したのが3ページ「いしかり産」
の写真です。

陶主の左門幹大さん(写真)が、こ
の地に窯を構えたのが今から10年前。
自身で作った登り窯から生まれる作
品「六文焼」は、併設のギヤラー「ぼ
んたらま」で展示販売しています。
作品は、釉薬を使わずに炎と土で焼
きしめた自然釉。使えば使うほど味
がでる、優しい景色を持った器で、毘
砂別の粘土を使っているとあれば、一
層愛着がわいてきます。「この秋、す
ぐ近くの水田の土を使って器を焼い
てもらえないかと依頼がありました。
今から楽しみです」と左門さん。また、
新たな魅力の器が生まれそうです。
ギヤラーは10月末まで公開。(D)
ギヤラー「ぼんたらま」

所 浜益区毘砂別78・6 ☎ 79・3750

